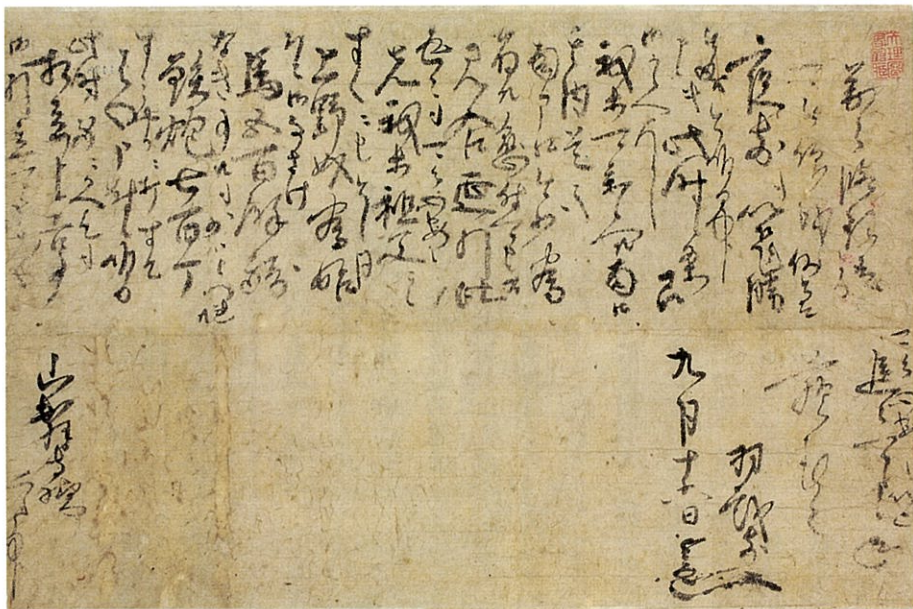


やまとの名品 天理図書館



だてまさむねしよじょう
伊達政宗書状

もがみよしあき
最上義光宛

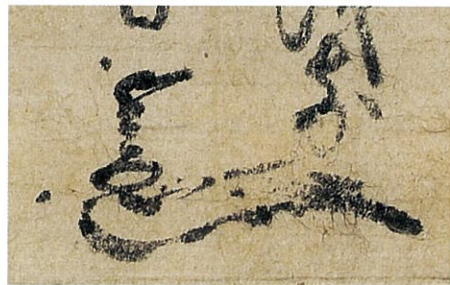
慶長5年(1600) 9月16日付

縦32.8cm 横48.6cm

「杜^{もり}の都」仙台の礎を築いた仙
台藩初代藩主伊達政宗（一五六
七〜一六三六）は、出羽米沢城
（山形県米沢市）に伊達輝宗の
長男として生まれ、戦国の動乱
の世を生き抜き、近世大名へ転
身した数少ない戦国武将である。
さて、石田方西軍と徳川方東
軍との、かの有名な天下分け目
の関ヶ原の戦いと同時期に、
「北の関ヶ原」とも言われる奥
羽での戦いがあったことを読者
の皆さんはご存じであろうか。
本状はまさにその奥羽での動乱
のさなかにやり取りされたもの
で、政宗が「山（形）出羽守」
こと、伯父の最上義光に宛てた
ものである。年代の記載はない

が、内容から関ヶ原の戦いがあ
った慶長五年（一六〇〇）のも
のであると分かる。

この奥羽における動乱では、
政宗と義光はともに徳川方とし
て上杉景勝との間で激戦を繰り
広げた。九月に入ると、上杉氏
の重臣直江兼続の攻撃を受けて
窮地に立たされた山形城の義光
が、援軍を求めて嫡男義康を政
宗の許に遣わせた。本状はその
返書である。政宗は、これまで
の東北制圧の過程で隣国出羽の
戦国武将であった義光によって
幾度も窮地に立たされたが、そ
の伯父義光からの要請に、一門
である叔父の留守政景を総大将
として馬五百余騎、鉄砲七百丁



政宗の花押

を送ると伝えている。さらに、
これまでのことは「すみやかに
打すて」、我が身に代えて「御引
立可申候」と書き添え、危機に
ある義光を安堵させている。
伊達家文書の一つ、日付の下
に政宗の花押が見える。

（天理図書館 春木陽一）

天理図書館のお知らせ Tel: 0743 - 63 - 9200 <http://www.tcl.gr.jp/>

◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）

○9月の休館日: 21日・30日

（本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）